



火之神公園一帯をボランティア清掃
 ■4月4日、まくらざきハーモニーネットワーク委員会の会員などによる、恒例の火之神公園一帯のボランティア清掃が行われ、たくさんのゴミが収集されました。



市内小学校で入学式
 ■4月6日、市内各小学校で入学式が行われました。別府小学校では新1年生26人が元気に入学し、これから始まる小学校生活に期待をふくらませていました。



かつおのピンタ料理で転入教職員を歓迎
 ■4月17日、立神中学校PTA主催の転入教職員歓迎会が大塚公民館で行われ、転入してきた5人の先生たちは、恒例のかつおのピンタ料理を豪快に食べました。



かつお節パワーで目指せ日本一!
 ■4月11日、鴨池球場で行われたプロ野球公式戦ソフトバンクホークス対日本ハムファイターズ戦を前に、枕崎水産加工業協同組合が、ソフトバンクホークスの今宮健太選手に枕崎鰹節の本枯れ節を贈呈しました。



カツオと鰹節の魅力を紹介
 ~「カツオ今昔物語」出版

さまざまな角度からカツオの魅力に迫った「カツオ今昔物語 地域おこしから文学まで」が出版されました。この本は、鹿児島県立短期大学の教職員や枕崎市漁協の林吾郎さん、枕崎水産加工業協同組合の小湊芳洋参事の総勢7人が協力し、それぞれの専門分野からカツオと鰹節のさまざまな魅力を紹介しています。

本の編集を務めた同大学の福田忠弘教授は「カツオや鰹節の面白さをもっと知ってもらいたいです。そして全国から枕崎に足を運んでもらって、枕崎の良さも知ってもらいたいです。たくさんの人に読んでほしいです」と話していました。



カツオのように強く元気になってね
 ~新1年生がかつおのぼりを掲揚

4月22日、枕崎小学校の新1年生24人が市役所正面玄関前にかつおのぼりを掲揚しました。

このイベントは、カツオの元気さと縁起の良さにあやかり、枕崎の水産業の振興を祈願し、かつおまつりを盛り上げるとともに、子どもたちの健やかな成長を願って平成11年から毎年行われています。

児童は「こいのぼりの歌」の替え歌「かつおのぼりの歌」を元気に歌いながらロープを引っ張り、大小11匹のかつおのぼりを掲揚しました。

児玉萌子さんは「みんなと一緒にできて楽しかったです。これから勉強を頑張りたいです」と元気に話してくれました。



①平和祈念展望台で献花をする参拝者 ②戦時中の生活について話す中釜アヤ子さん ③戦艦大和や戦時中に関するパネル・ジオラマ展示

火の神乙女太鼓爽が全国大会で入賞
 ~第17回日本太鼓ジュニアコンクール

第17回日本太鼓ジュニアコンクール(全国大会)が3月22日、長野県で開催され「火の神乙女太鼓 爽」がアルゼンチン太鼓協会賞を受賞しました。

「火の神乙女太鼓 爽」は、出演順1番で登場。緊張の中、持ち前の息の合った迫力ある演奏を披露し、会場を沸かせていました。小村凌くん(鹿児島水産高校2年)は「応援してくださる方々、家族や親戚への感謝の気持ちを忘れず、自分たちの出せる力は全て出し切れたと思います。このメンバーで太鼓を打てたこと、みんなで最高の演奏ができたことがとても嬉しかったです」と話していました。



戦後70年を迎え恒久平和を願う
 ~海上特攻戦没70年企画展「南溟の海と空」

海上特攻戦没70年企画展「南溟の海と空」が、南溟の海と空実行委員会の主催により、4月4日から7日までの期間、南溟館で開催されました。

戦艦大和や戦時中に関するパネル・ジオラマの展示や映像放映、ラッパの吹奏、国分自衛隊第12普通科連隊音楽部による吹奏楽演奏などさまざまな催しが行われました。戦争の体験談では、中釜アヤ子さん(千代田町・90歳)などが戦時中の苦しかった生活のことなどについて話をしました。

また、戦艦大和を含む第二艦隊が沈没した7日には、遺族や関係者ら約200人が火之神公園内の平和祈念展望台を訪れ、献花を行いました。大和が撃沈された午後2時過ぎには参列者が黙とうを捧げ、その後「ふるさと」を歌い、戦没者の冥福を祈りました。



保育園児たちが田植えを体験
 ~投稿者: 枕崎の食を考える会

4月11日、枕崎の食を考える会の主催で、田植え体験を行い、市内保育園の園児や保護者など約80人が参加しました。

園児たちは「つめたーい」と言いながら田んぼに入り、なかには入ることを嫌がりながら保護者や先生と手をつないで入る園児もいました。

苗を渡されると、園児たちは保護者らの間に入って、一生懸命にバランスをとりながら、渡された苗をギュッと植えていました。植えた後には「大きくなーれ」とそれぞれが植えた苗に声をかけて、初めての田植え体験をとて楽しんでいました。

この体験を通じて、命を育てる楽しみと命をいただく喜びが心に残ってくれたらいいなと思いました。